面談の前に、御社のホームページを見てみました。/ 先(さき)ほどの素晴らしい説明を聞いて,

御社には多くの業界向けのビジネスシステムがあります. さまざまな事業部門(じぎょうぶもん)が異(こと)なる業界のお客様にサービスを提供しています。私の仕事の一部は、各事業(じぎょう)部門に対してソリューションのサポートを提供することです。また、御社では SAP/Oracle などの技術が使用されていますが、私もそれらの経験がありますので、このポジションには適任(てきにん)だと考えています。

御社は多くの業種(ぎょうしゅ)のお客様にサービスを提供していますか？

御社は少ない人数(にんずう)で多くの業務を支(ささ)えているのですね。素晴らしいです。

御社は金融(きんゆう)業務関連のシステムの設計と開発を行っていると伺いました。前職で私は電信業務スポートシステム会計モジュールの設計と開発を担当していました。

私の仕事の一部は、各事業(じぎょう)部門に対してソリューションのサポートを提供することです。

また、御社では SAP・oracle などの技術が使用されていますが、私もそれらの経験がありますので、このポジションには適任(てきにん)だと考えています。

御社の技術は主に JavaScript,php,go 関連のフレームワークです。私も前職では主に JavaScript と PHP を使用しておりました。去年は GitHub に公開(こうかい)したプロジェクトも TypeScript/php を使用しておりますので、技術的な面(めん)では比較(ひかく)的適合(てきごう)していると思っております。

私も御社の皆様とお客様に喜(よろこ)んで貰(もら)える、寄(よ)り添(そ)う接客(せっきゃく)をしていきたいです。

風通(かぜとお)しのよさから従業員(じゅうぎょういん)の方(かた)にも思いやりのある温(あたた)かい会社だと感じ、志望(しぼう)しました。

私の強みは、新しい環境でも,物怖(ものおじ)せず挑戦して成果を残(のこ)せるところだと、考えております。

プログラム開発やデータベースの運用保守など、自分の強みを存分に発揮(はっき)して、近(ちか)い将来(しょうらい)、今のように独立(どくりつ)したいと思っています。

私は既存システムメンテナンスの経験とバックエンド開発を長年積(ながねんつ)んできました。新しい仕事で私の得意な分野を活(い)かすことができればと思っています。

私はバックエンド開発の仕事をしたいと思っています。

御社はベンチャー企業であり、大きな成長余地(せいちょうよち)とポテンシャルがあります。私は教育業界のアプリケーションにも興味があります。なぜなら、私の娘が小学校に通っているからです

## 自己紹介

お休みの日お時間にお邪魔しまして申し訳ございません。

お休みの日にお手数をおかけしまして、申し訳ございませんでした。

そんなことはありません。まだまだ勉強中です。

他社との面接は 10 回経験しており、現在のような状況(じょうきょう)も含(ふく)めて、しかし、仕事内容はあまりマッチしませんでした。

李洪と申します。　中国遼寧省出身です　沈陽に住んでいます、入社すればの会社の近くに引っ越すつもりです

今 40 歳です、３人家族です。娘が一人います

2006 年 9 月に西安通信学院を卒業しました。/ 大学で学んだのは通信工学でした

卒業からずっと IT 業界で働いています，私は仕事でプログラミング開発やデータベース管理に熟練しています。

今 Neusoft グループで働いています、ブロックチェーン開発担当です

私は半年日本語を習っています、日本に行ったことはありませんが、昔から日本が好きです

以上が私の基本的な紹介です。次に、私の職務経歴について簡単に説明します。

1. 私は 2006 年から 2011 年まで亜信の北京電信(ぺきんでんしん)サポート部でソフトウェアエンジニアとして勤務(きんむ)しました。主に(おもに)北京電信の業務サポートシステム（BSS）の会計(かいけい)管理モジュールの開発と設計(せっけい)を担当しました

2. 2011 年から 2015 年まで人人網のデータセンターで運用開発エンジニアとして勤務しました。主にウェブサイトのデータベースのメンテナンスを担当し、また自動化運用プラットフォームやデータ統計(とうけい)プラットフォームの開発と設計にも参加しました。

3. 2015 年、家庭(かてい)の事情(じじょう)で沈陽にやってきました。2015 年から 2023 年まで、東軟グループの技術戦略(せんりゃく)開発部でシニアソフトウェアエンジニアとして勤務し、各(かく)部門(ぶもん)に対して技術サポートを提供し、またブロックチェーンプラットフォームの設計、開発、および運用も担当しました。

私は Web システムの設計、開発や Linux 環境でのデータベースのメンテナンスが得意で、仕事でよく使うプログラミング言語は PHP、JavaScript、Python、Java、Go、 です

自己紹介は以上です，すみません、よく聞き取れなっかたのですか

结束时用: 本日は貴重なお時間を頂きありがとうございました。

現在技術の発展が非常に速く、私は新しい技術に興味を持っています

辞職と出国手続きには約 2 か月かかります,ですので、約 3 か月以内に入社可能です

--好き

私は日本は中国よりも発展しており、文明的だと思います

今回は日本の企業に限定(げんてい)して考えており、日本独特(どくとく)の精緻(せいち)な仕事スタイルや技術への重要性(じゅうようせい)を大変好(たいへんこの)ましく思っています。また、日本の教育にも魅力(みりょく)を感じており、娘にも日本で学校に通ってもらいたいと考えています。

前職で日本からの同僚(どうりょう)と協力した経験もあり、彼らの仕事ぶりや技能に感心(かんしん)しました。なので、日本で日本の方と働きたいと思います。

日本と中国は異なる文明の発展段階(だんかい)にあります。私見(けん)ですが、中国の方が少し荒々(あらあら)しい印象(いんしょう)を受けます。

## 自己 PR

この分野の経験はほとんどありません。企業のお客様にソリューションを提供する

去年、私は GitHub で自分で作ったプロジェクトを共有しました。このプロジェクトは簡単に言えば日本の株式市場のデータを分析し、いくつかのパターンに基づいて初期のスクリーニングを行い、これらの強力な株式の中からより深いスクリーニングを行うことを容易にします。フロントエンド技術は Typescript(Vue3) を使用します

バックグラウンド技術は PHP (Laravel) を使用します。データ収集/分析技術は Python/Golang を使用します

私の強みは主体的に行動できることです。

人人网で働いていた時に、sns no database 保障したことがあります

Web サイトには 2000 以上のデータベースインスタンスがあり、それらは近 1000 台の Linux サーバーで実行されています。

私の仕事は、データベースの移行、最適化、バックアップ、故障対応などです。

Zabbix を使って数千のデータベースインスタンスを監視し、監視項目がしきい値を超えると自動的にアラートが発生します。

私は MHA をベースにした二次開発により、MySQL クラスターの故障時に自動切り替えを実現しました。

今東軟グループで働きます、ブロックチェーン関連プロダクトの開発の担当です

Hyperleger Fabric に基づくブロックチェーン運用および保守プラットフォームとブロックチェーン クロスチェーン プラットフォーム, 多くの企業や政府のクライアントにサービスを提供しています

多くの企業や政府にサービスを提供しています

今仕事は安定ですが、ちょうと達（た）成感がふそくしています。

キャリアアップが見えなくなったことです、職場で成長スピードを上げていきたいと思ったためです。

私にどのような業務内容を担当してもらえるでしょうか？

入社までに事前に勉強しておくべきことがあれば教えてください。

--プロジェクト

私が東软で開発したブロックチェーンアプリケーションプラットフォームは、Hyperledger Fabricをベースにした二次開発です。このプロジェクトでは、プラットフォーム全体の設計と開発を担当しました。このプラットフォームの難点(なんてん)は、ブロックチェーンのパフォーマンスを最適化し、ブロックチェーン技術を実際のビジネスシーンに適用する方法です。Hyperledger Fabricのソースコードを研究(けんきゅう)し、さまざまな機能を拡張(かくちょう)・最適化しました。例えば、さまざまな暗号化(あんごうか)アルゴリズムのサポート、さまざまな状態(じょうたい)データベースのサポート、さまざまなコンテナのサポート、スマートコントラクトの自動生成(せいせい)などです。

--教育

まず、中国と日本の教育内容、試験制度(せいど)、評価方法(ひょうかほうほう)にはいくつかの違いがあります。中国の教育システムは科目知識(かもくちしき)と試験対策(たいさく)能力に重点(じゅうてん)を置き、試験の成績(せいせき)が学生の選抜(せんばつ)や進学(しんがく)に重要な役割(やくわり)を果(は)たします。一方、日本の教育は学生の総合(そうごう)的な素養(そよう)、自主学習(じしゅがくしゅう)能力、創造(そうぞう)的思考(しこう)力の育成(いくせい)に重点を置いています。

次に、教授法(きょうじゅほう)も異なります。中国の教育では、教師(きょうし)は知識(ちしき)を教え込み、学生は多くの知識を記憶(きおく)して消化(しょうか)することを奨励(しょうれい)されます。これに対して、日本の教育は対話(たいわ)や参加を重視(じゅうし)します。教師は学生に考えさせ、質問させ、協力させることを奨励し、グループディスカッションや実践(じっせん)的な活動(かつどう)を通(つう)じて学生の創造的思考力と批判(ひはん)的思考力を育成(いくせい)します。

最後に、教育の価値観(かちかん)も異なります。中国の教育は学業の成果(せいか)と競争(きょうそう)を重視し、学生は通常(つうじょう)、大きな学業のプレッシャーにさらされます。一方、日本の教育は学生の品性(ひんせい)、社会(しゃかい)的責任感(せきにんかん)、市民意識(しみんいしき)の育成を重視します。日本の教育は個人(こじん)の修養(しゅうよう)と人間関係の発展を強調(きょうちょう)し、学生に自律(じりつ)心(こころ)と協調性(きょうちょうせい)を持たせることを奨励(しょうれい)します。

私の知識と経験に基づくと、私自身では両方(りょうほう)の教育制度(せいど)を客観(きゃくかん)的に評価(ひょうか)するのは難しいです。しかし、日本の教育制度は学生の総合(そうごう)的な素養(そよう)と創造的思考力(しこうりょく)の育成に重点を置いていると考えています。これは学生の個人(Kojin)的な成長と将来のキャリアに非常に有益(ゆうえき)です。

--leader

チームのリーダーとして、どのような業務に責任(せきにん)を持ちますか？

ソフトウェア開発チームのリーダーとして、通常は以下(いか)の業務に責任を持ちます：

プロジェクト管理：プロジェクトの計画(けいかく)、組織(そしき)、管理を担当します。プロジェクト計画の策定(さくてい)、マイルストーンの設定、タスクとリソースの割(わ)り当(あ)てなどを行い、プロジェクトのスケジュール遵守(じゅんしゅ)と品質基準(ひんしつきじゅん)の達成を確保(かくほ)します。

チームリーダーシップ：チームのメンバーに指導(しどう)とサポートを提供し、個人とチームの目標達成(もくひょうたっせい)に向けて彼らを活気(かっき)づけます。チームリーダーはチームワークを育成し、コミュニケーションと知識共有を促進(そくしん)する役割(やくわり)を果(は)たすべきです。

技術指導(しどう)：技術的な面では、チームリーダーは豊富(ほうふ)な技術経験と専門(せんもん)知識を持ち、チームメンバーに技術的なアドバイスとガイダンスを提供し、技術的な課題を解決(かいけつ)し、チームがベストプラクティスに基づいて開発を進(すす)めることを確実(かくじつ)にします。

人材(じんざい)管理：チームの人材管理を担当し、採用(さいよう)、トレーニング、パフォーマンス評価などを行います。チームリーダーはチームメンバーの能力と興味を理解し、業務を適切(てきせつ)に割(わ)り当(あ)て、必要なトレーニングや成長の機会(きかい)を提供する必要があります。

コミュニケーションと調整(ちょうせい)：チームリーダーは、チーム内外(うちそと)でのコミュニケーションと調整の役割(やくわり)を果(は)たします。他(た)のチーム、プロジェクトマネージャー、関係者(かんけいしゃ)と効果(こうか)的なコミュニケーションと調整を行い、情報(じょうほう)の流(なが)れとプロジェクトの進捗(しんちょく)を円滑(えんかつ)にする役割を果たします。

リスク管理：プロジェクト中のリスクと課題を特定(とくてい)し、適切(てきせつ)な対策(たいさく)を策定(さくてい)する責任(せきにん)があります。チームリーダーは問題を迅速(じんそく)に解決し、リスクがプロジェクトの進捗(しんちょく)や品質(ひんしつ)に与える影響(えいきょう)を軽減(けいげん)する必要があります。

品質(ひんしつ)管理：ソフトウェア開発プロセスにおける品質管理措置(そち)が適切(てきせつ)に実施(じっし)されることを確保(かくほ)します。コードレビュー、ユニットテスト、統合(とうごう)テストなどを含(ふく)みます。チームリーダーは、チームがベストプラクティスと標準(ひょうじゅん)に準拠(じゅんきょ)して高品質(こうひんしつ)なソフトウェア製品を提供することを確実(かくじつ)にします。

まとめると、チームリーダーはプロジェクト管理、チームリーダーシップ、技術指導(しどう)、人材(じんざい)管理など、さまざまな業務を担当します。彼らの責任は、チームの効率(こうりつ)的な運営(うんえい)、プロジェクトの成功(せいこう)への貢献(こうけん)、メンバーの成長と発展を促進(そくしん)することです。

--sql

私はSQLクエリの最適化に関する経験が豊富(ほうふ)であり、SQLクエリのパフォーマンス問題は通常(つうじょう)、以下(いか)の3つの問題によって引き起こされます。

インデックスの不適切(ふてきせつ)な使用またはインデックスの不使用。この種(しゅ)の問題は、SQLクエリの実行計画(けいかく)を確認(かくにん)することで解決策(かいけつさく)を見(み)つけることができます。

データテーブルのレコードが多(おお)すぎるか、あるフィールドの長さが大きすぎる場合(ばあい)、通常、データ量が1000万以上に達(たっ)すると性能(せいのう)の問題が発生(はっせい)しやすくなります。

--技術的な課題

プロジェクトで遭遇した技術的な課題と、その解決方法について説明します。

私が参加したブロックチェーンプラットフォームのプロジェクトで、パフォーマンスとスケーラビリティの観点(かんてん)から大規模(だいきぼ)なトランザクションの処理に関する技術的な課題に直面(ちょくめん)しました。

私たちのプロジェクトでは、大量(たいりょう)のトランザクションデータを処理し、システムがこれらのデータを効率(こうりつ)的に処理および保存(ほぞん)できることが求め(もとめ)られました。しかし、初期段階(だんかい)では、大規模なトランザクションの処理においてシステムのパフォーマンスが低下(ていか)し、期待(きたい)されるスループットの要件を満たす(みたす)ことができませんでした。

この問題を解決するために、私は以下の手順を踏(fu)みました：

パフォーマンス分析とチューニング：まず、システムのパフォーマンス分析を行い、ボトルネックを特定(とくてい)しました。Hyperledger Fabricのパフォーマンス分析ツールやモニタリングツールを使用し、システムの実行メトリックやパフォーマンスデータを収集し分析しました。分析結果(けっか)から、いくつかの重要なコンポーネントと操作(そうさ)がパフォーマンスのボトルネックであることを発見(Hakken)しました。

コードと設定(せってい)の最適化：パフォーマンス分析の結果に基づいて、コードを最適化し改善しました。チェーンコードのロジックと実装(じっそう)を検証(けんしょう)し、不要(ふよう)な計算(けいさん)やアクセス操作(そうさ)を可能な限り削減(かぎりさくげん)しました。また、ネットワークの設定とパラメーター設定を最適化し、システムのスループットと応答性能(おうとうせいのう)を向上(こうじょう)させました。

並行(へいこう)処理：システムのスケーラビリティと並行処理能力を向上(こうじょう)させるために、並行処理のメカニズムを導入(どうにゅう)しました。Hyperledger Fabricの並行実行モデルを利用し、適切(てきせつ)に設計された並列処理メカニズムを導入(どうにゅう)することで、システムリソースとマルチコア処理能力を最大限(さいだいげん)に活用(かつよう)しました。

ストレステストとパフォーマンスチューニング：改善の効果(こうか)を検証(けんしょう)するために、一連(いちれん)のストレステストとパフォーマンスチューニングを行いました。大規模なトランザクション負荷(ふか)をシミュレートするためのツールやフレームワークを使用し、システムのパフォーマンスをモニタリングしました。テストとチューニングの繰り返し(くりかえし)を通じて、システムのパフォーマンスとスケーラビリティを段階的に改善しました。

これらの手順(てじゅん)により、私たちはこの技術的な課題を成功裏(せいこうり)に解決し、システムの高いパフォーマンスとスケーラビリティを実現しました。私たちのシステムは大規模なトランザクションデータを処理し、期待(きたい)されるスループットの要件に達して(たっして)います。

この問題の解決にあたり、私はHyperledger Fabricのパフォーマンス特性(とくせい)と最適化戦略を深く研究(けんきゅう)し、パフォーマンス分析ツールやテストフレームワークを活用(かつよう)して問題解決(かいけつ)に取り組みました。コードの最適化、設定の調整(ちょうせい)、並行(へいこう)処理などの改善に注力(ちゅうりょく)し、システムのパフォーマンスとスケーラビリティを向上させる改善を行いました。この経験を通じて、私はHyperledger Fabricプロジェクトでの技術力と問題解決能力を向上(こうじょう)させました。

--communication

私が東软でサポートしたチームプロジェクトでは、チームメンバー間の(あいだの)コミュニケーションと協力に課題がありました。プロジェクトの規模(きぼ)が大きかったため、チームメンバーは異なる地理的(ちりてき)な場所(ばしょ)に分散(ぶんさん)していました。これがコミュニケーションと協力をより複雑にしました。

この問題を解決するために、私は以下の対策(Taisaku)を取りました：

コミュニケーションチャネルの最適化：チームメンバーがより多くのオンラインコラボレーションツールやコミュニケーションチャネルを使用するよう推進(すいしん)しました。例えば、チームチャットツール（Feishuなど）や共同編集(きょうどうへんしゅう)ツール（WPS Docsなど）です。これにより、チームメンバーは簡単にコミュニケーションし、ドキュメントを共有し、リアルタイムで協力することができ、コミュニケーションの効率(こうりつ)が向上(こうじょう)しました。

コミュニケーションプロセスの標準(ひょうじゅん)化：私は明確(めいかく)なコミュニケーションプロセスを確立(かくりつ)しました。定期(ていき)的なチームミーティングや進捗報告(しんちょくほうこく)、問題や意思決定(いしけってい)の追跡(ついせき)と記録(きろく)を含み(ふくみ)ます。これにより、チームメンバーはプロジェクトの進捗(しんちょく)や問題をタイムリーに把握(はあく)し、意思決定(いしけってい)に参加しフィードバックを提供することができます。

技術トレーニングとサポートの提供：私はチームメンバーの間に技術的なギャップが存在(そんざい)する可能性があることに気付き(きづき)ましたので、技術トレーニングや知識共有のセッションを組織(そしき)し、チームの技術力を向上(こうじょう)させました。また、チームメンバー同士(どうし)のサポートや協力を奨励(しょうれい)し、共に(ともに)技術的な課題を解決するよう努め(つとめ)ました。

チーム協力文化の促進(そくしん)：チームメンバー同士が積極(せっきょく)的な協力関係を築く(きずく)ことを奨励し、お互い(たがい)をサポートし尊重(そんちょう)するチーム文化を推進(すいしん)しました。チームビルディング活動(かつどう)やチームランチなどを組織(そしき)し、相互(そうご)の理解と信頼を深め、チームの結束(けっそく)力を高めました。

これらの対策により、チームメンバー間のコミュニケーションと協力が成功裏に改善されました。チームメンバーはより頻繁にコミュニケーションし、協力し、問題の解決速度と品質も向上しました。また、チームの雰囲気もより前向きになり、メンバー間の協力関係が強化されました。

この経験を通じて、チームプロジェクトにおけるコミュニケーションと協力の重要性を認識し、コミュニケーションチャネルの最適化、プロセスの標準化、サポートの提供、チーム協力文化の促進などの手法を通じてチーム協力の課題を解決する方法を学びました。

私は学習(がくしゅう)を始めて半年以上経ちましたが、聞くことと話すことにまだ少し差(さ)があるように感じます。だから毎日練習しています。時々敬語の使(つか)い方(かた)も正確(せいかく)ではなく、話し方が直接的(ちょくせつてき)になってしまうことがあります。

b)私は 2 回日本語能力試験に受けようと試み(こころみ)ましたが、中国では日本語能力試験の座席(ざせき)が非常(ひじょう)に競争(きょうそう)が激(はげ)しく、受付(うけつけ)が始まったばかりで早くも満席(まんせき)になり、私は 2 回とも受けることができませんでした。

--年収

北京を離(はな)れた時、私の年収はおおよそ 750 万円でした。その時、娘が生(う)まれたばかりで、妻は北京が好きではなかったので、私は沈陽に戻(もど)りました。

中国の沈陽は経済が非常に悪い都市なので、給料は大幅(おおはば)に下がっています

実際(じっさい)には、私自身も自分がいくらの給与を求(もと)めるべきかよくわかりません。東京の経済は北京よりもずっと良いと思いますし、物価(ぶっか)も高いです。だから、北京の購買力(こうばいりょく)を参考(さんこう)にして、私が望(のぞ)む給与は 700 万円です。ただ、実際には自分自身と家族の基本的な生活(せいかつ)を保証(ほしょう)したいだけです。

いくらの給与が適切(てきせつ)だと思われますか？

1 ヶ月の給与手取りはおおよそいくらになりますか？

月々(つきづき)、妻と子供の家計(かけい)を維持(いじ)するために約 20 万円必要です。

これらの残(のこ)ったお金では東京で生活(せいかつ)するには足(た)りませんか？

年収はどのような要素(ようそ)から構成(こうせい)されますか？

--

a)聞くことと話すことにまだ少し差(さ)があるように感じます。だから毎日練習しています。時々敬語の使(つか)い方(かた)も正確(せいかく)ではなく、話し方が直接的(ちょくせつてき)になってしまうことがあります。

b) 私は 2 回日本語能力試験に受けようと試み(こころみ)ましたが、中国では日本語能力試験の座席(ざせき)が非常(ひじょう)に競争(きょうそう)が激(はげ)しく、多くの人が争って(あらそって)います。受付(うけつけ)が始まったばかりで早くも満席(まんせき)になり、私は 2 回とも受けることができませんでした。

--

家族も私が日本の企業で働くことに賛成しています。妻は私のことを信頼(しんらい)してくれていますので、私も安心して自分の希望の道(みち)を進むことが出きます。御社への入社が叶(かな)えば、家族も幸(しあわ)せになるでしょう，私はずっと日本で働きたいし、娘には日本の学校に通わせたいと思っています。